

平成18年度病害虫発生予報第7号(10月予報)

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

かいよう病 (カンキツ)

学名: *Xanthomonas campestris* pv. *citri*



果実の病徴



枝の病徴



葉の病徴(表)



葉の病徴(裏)

被害と対策

葉、枝、果実に発生する細菌病である。病斑は、最初は淡黄色水浸状の丸い斑点であるが、だんだんとコルク化し、周りには黄色のハローを生ずる。ミカンハモグリガの食害、風すれなどの傷口や気孔から細菌が侵入する。台風の襲来は発病を著しく助長する。ミカンハモグリガ防除や防風対策を行うとともに、翌年の伝染源となる罹病した夏秋枝を取り除くことが重要である。タンカン、シークワサーは罹病性で、温州ミカン耐病性である。

予報の見方

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。

平成18年10月2日

沖縄県病害虫防除技術センター